

# 1. 経済調査会の概要

## ■ 概要

名称：一般財団法人経済調査会

住所：東京都港区新橋六丁目17-15 菱進御成門ビル / 電話（代） 03-5777-8211

URL：<https://www.zai-keicho.or.jp/>



経済調査会について

事業内容

出版物・電子商品・講習会について

建設関連の情報提供

お問い合わせ

公正で中立な調査活動と  
信頼される情報提供を通じて  
社会経済の発展に貢献します



# 1. 経済調査会の概要

## ■ 沿革

- 1946.09 当会の前身「東京経済調査会」設立
- 1947.09 物価・賃金に関する週間速報・経済調査報告書「物価版」第1号を創刊
- 1951.06 経済安定本部（現・内閣府）を主務官庁とする「財団法人経済調査会」に改組
- 1954.02 「経済調査報告書・労働経済版」を「積算資料」に改題
- 1984.01 「施工単価資料」（現・建築施工単価）創刊
- 1985.08 総理府経済企画庁（現・内閣府）並びに建設省（現・国土交通省）の両省を主務官庁とする共管法人に改組
- 1999.09 ISO9001 認証登録
- 2008.12 建設コンサルタント登録
- 2012.06 一般財団法人へ移行
- 2016.09 創立70周年

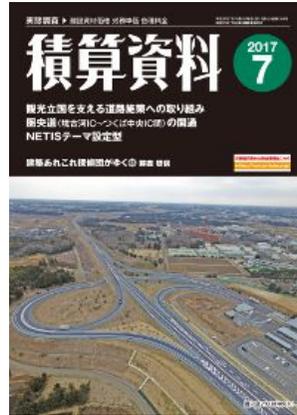
## ■ 事業目的

「国内の一般経済 特に物価及び労働問題の実態を実証的調査究明する事業を行い もって円滑な経済活動の推進と我が国経済の発展に寄与すること（定款 第3条）」を目的とする。

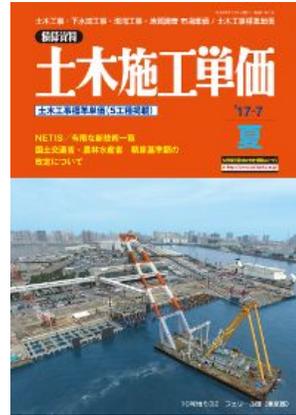
# 1. 経済調査会の概要

## ■ 主な出版物

### 月刊「積算資料」



### 季刊「土木施工単価」



### 季刊「建築施工単価」



### 「工事歩掛要覧」



### 月刊「建設マネジメント技術」



### 「設計業務等標準積算基準書」



### 「積算資料ポケット版」



### 「実践！事例で学ぶFP法」



## 2. ソフトウェアに関する調査・研究などの取組み

### 2-1 ソフトウェアに関するこれまでの主な調査・研究活動

1990年 「ソフトサービス料金」発刊（情報サービス技術者料金等掲載）

※1995年4月号から情報サービス技術者料金は「積算資料」に移管

1997年 日本ファンクションポイントユーザ会（JFPUG）入会

1998年 ソフトウェア開発費積算研究委員会設立

※同年からソフトウェア開発に関する調査開始

2001年 自主研究レポート「ソフトウェア開発費積算に関する調査研究」公表

2003年 ソフトウェア開発に関する調査 JFPUGと共同調査開始

2006年 ソフトウェア工学分野において奈良先端科学技術大学院大学（NAIST）との共同研究開始

2006年 システム運用 ソフトウェア保守の調査開始

2008年 ERA情報サービスセミナーの開催開始

2009年 経済産業省 ソフトウェアメトリクス高度化プロジェクトに参画（2011年度まで）

2010年 ソフトウェア開発蓄積データ分析レポート「ソフトウェア開発データリポジトリの分析」公表

2014年 「積算資料」において大手・中堅ベンダーのソフトウェア開発技術者料金調査結果公表

2015年 「ソフトウェア開発データリポジトリの分析」（2015年版）公表

## 2. ソフトウェアに関する調査・研究などの取組み

### 2-2 これまでの研究論文・レポートのテーマ(1)

- 「ソフトウェア開発費積算に関する調査研究」（経済調査会研究レポート 2001）
- 「ソフトウェア開発工数積算のための生産性分析」（NAISTとの共同研究 経済調査研究レビューVol.1 2007./9）
- 「情報システム運用業務の現状分析」（NAISTとの共同研究 経済調査研究レビューVol.2 2008./3）
- 「ソフトウェア保守業務の現状分析」（NAISTとの共同研究 経済調査研究レビューVol.3 2008./9）
- 「ソフトウェア開発費に影響する要因の分析」（NAISTとの共同研究 経済調査研究レビューVol.4 2009./3）
- 「ソフトウェア開発プロファイルデータの相関ルール分析」（NAISTとの共同研究 経済調査研究レビューVol.5 2009./9）
- 「ソフトウェア開発におけるプロジェクト特性の経年変化に関する分析」（経済調査研究レビューVol.6 2010/3）
- 「ソフトウェア開発データリポジトリの分析」（経済調査会研究レポート 2010/7）
- 「ソフトウェア開発における適正工期に関する分析」（NAISTとの共同研究 経済調査研究レビューVol.7 2010./9）
- 「ソフトウェア開発における工程別生産性に関する分析」（NAISTとの共同研究 経済調査研究レビューVol.8 2011./3）
- 「開発早期における画面数からみたソフトウェア規模予測」（NAISTとの共同研究 経済調査研究レポート 2012./3）
- 「生産性に基づくソフトウェア開発工数予測モデル」（NAISTとの共同研究 経済調査研究レビューVol.11 2012./9）
- 「ソフトウェア開発技術者料金調査の概要と今後の方向性について」（経済調査研究レビューVol.12 2013./3）
- 「ソフトウェア保守改善に向けたデータ分析」（NAISTとの共同研究 経済調査研究レビューVol.13 2013./9）

## 2. ソフトウェアに関する調査・研究などの取組み

### 2-2 これまでの研究論文・レポートのテーマ(2)

- 「COCOMO IIによる工数見積り」（NAISTとの共同研究 経済調査研究レビューVol.14 2014.03）
- 「人月単価の相場を押さえよう」（「日経SYSTEMS」2014.07）
- 「システム運用費用に影響を与える要因の分析」（NAISTとの共同研究 経済調査研究レビューVol.15 2014.09）
- 「開発初期のソフトウェア規模見積りに関する研究」（NAISTとの共同研究 経済調査研究レビューVol.16 2015.03）
- 「COCOMO II をベースとした工数見積りモデルの研究」（PM学会春季研究発表大会 2015.03）
- 「ソフトウェア開発データリポジトリの分析（2015年版）」（経済調査会研究レポート 2015.05）
- 「計画の妥当性を確認しデスマーチを防ごう」（「日経SYSTEMS」2015.07）
- 「ソフトウェア開発における工程別生産性に関する分析～生産性変動要因に基づくリスク管理・予測に向けて～」（NAISTとの共同研究 経済調査研究レビューVol.17 2015.09）
- 「開発言語が生産性に与える影響の分析」（経済調査研究レビューVol.18 2016.03）
- 「ソフトウェア開発におけるフレームワーク使用と生産性」（NAISTとの共同研究 経済調査研究レビューVol.19 2016.09）

上記の他に奈良先端科学技術大学院大学（NAIST）等との共同研究論文多数

- 2012年9月に開催されたIWESEP2012で発表した研究論文“ Analysis of Attributes Relating to Custom Software Price” はBest Paper Awardを受賞

## 3. 「ソフトウェア開発に関する調査」の概要

### 1. 調査の目的

ソフトウェア開発に関するさまざまな実態について研究し、その成果を公表する。

### 2. 成果物

毎年度の調査集計・分析結果  
「ソフトウェア開発データリポジトリの分析」  
(蓄積データ集計・分析結果)



### 3. 今後

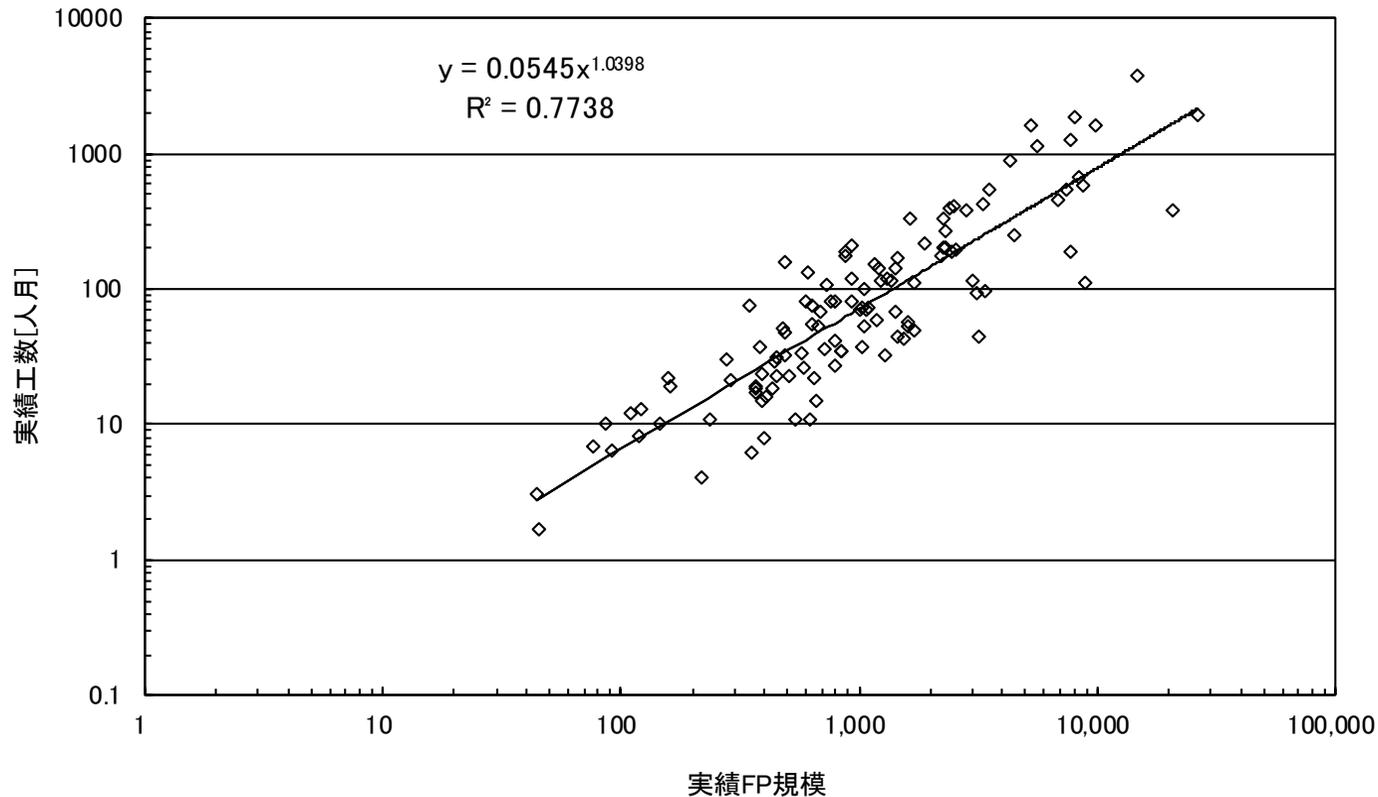
より詳細な見積り・プロジェクト管理の参考指標を提供していきたい。

**大規模プロジェクトや信頼性要求の高いシステム、社会的影響度の高いシステム（新規・改造）などのデータを収集し参考指標を提供していきたいと考えています。**

### 3. 「ソフトウェア開発に関する調査」の概要

#### ■ 分析の事例

図 FP規模と工数の関係(新規開発・IFPUG法類) 対数表示 N=116

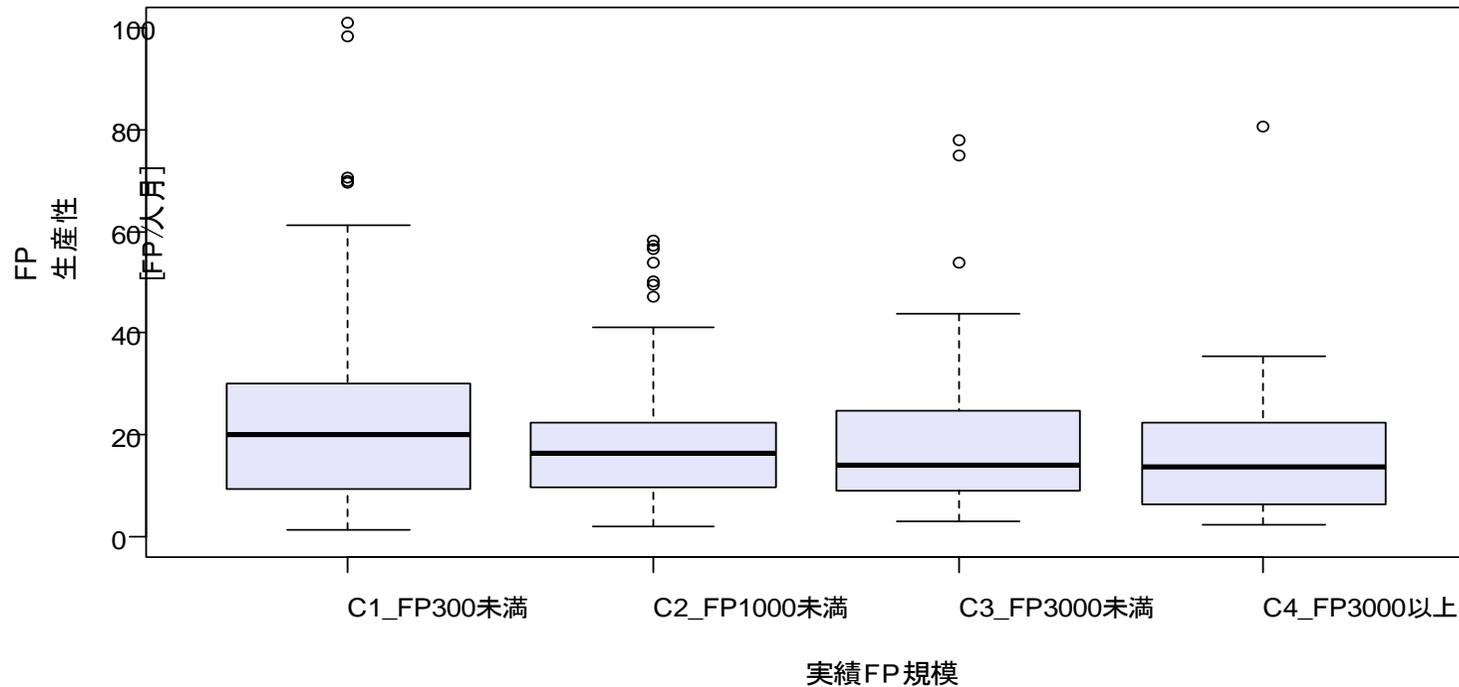


(出典:ソフトウェア開発データリポジトリの分析2015)

### 3. 「ソフトウェア開発に関する調査」の概要

#### ■ 分析の事例

図 FP規模ごとのFP生産性(新規開発・IFPUG法類)の箱ひげ図

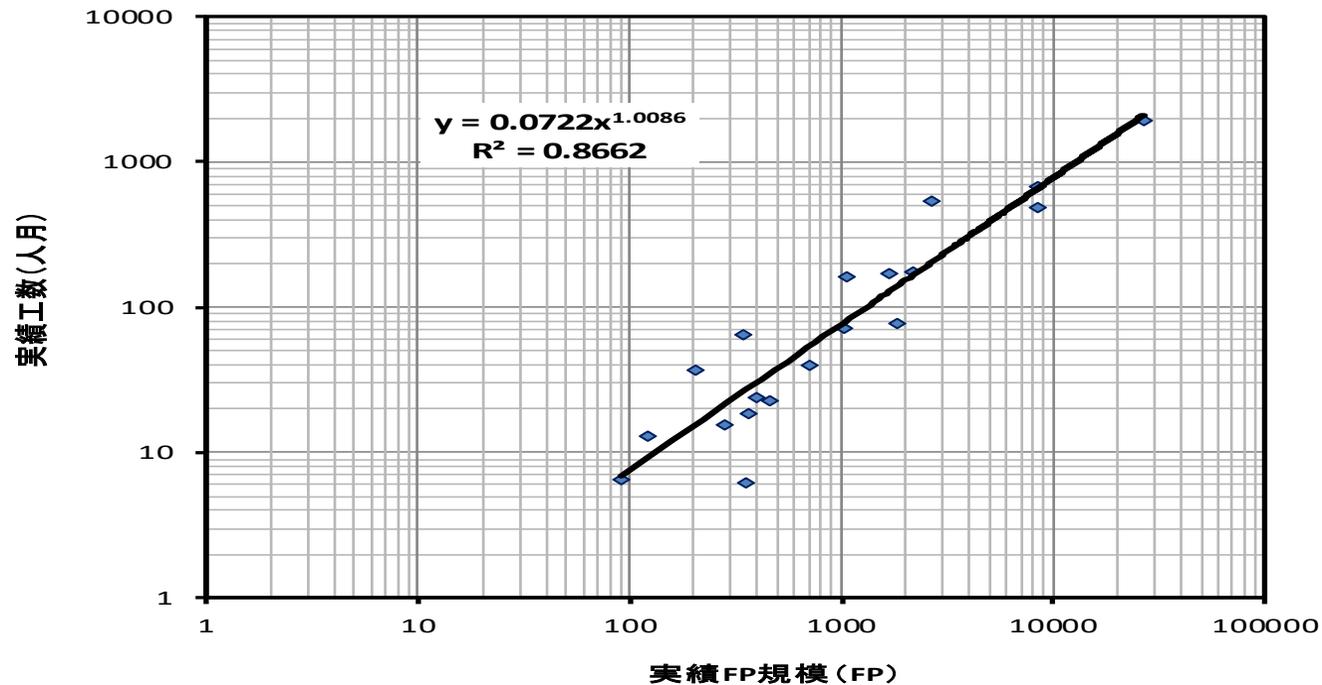


(出典:ソフトウェア開発データリポジトリの分析2015)

### 3. 「ソフトウェア開発に関する調査」の概要

#### ■ 詳細分析の例

図 FP規模と工数の関係(主開発言語Java+Struts使用)



(出典: 経済調査研究レビューvol.19「ソフト開発におけるフレームワーク使用と生産性」)